

製品名: GPC3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82538**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	65.5kDa

抗原情報

遺伝子名	GPC3
別名	SGB; DGSX; MXR7; SDYS; SGBS; OCI-5; SGBS1; GTR2-2
遺伝子 ID	2719.0
SwissProt ID	P51654
免疫原	大腸菌で発現したヒト GPC3 (AA: 55-200) の精製された組み換え断片。

背景

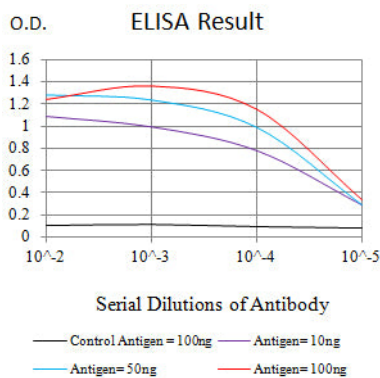
細胞表面ヘパラン硫酸プロテオグリカンは、膜結合タンパク質コアが様々な数のヘパラン硫酸鎖に置換された構造をしています。グリピカン関連膜貫通型プロテオグリカンファミリー (GRIPs) のメンバーは、グリコシルホスファチジルイノシトール結合を介して細

胞質膜に固定されたコアタンパク質を含んでいます。これらのタンパク質は、細胞分裂と増殖の制御に関与している可能性があります。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、CD26 のジペプチジルペプチダーゼ活性に結合して阻害し、特定の細胞種においてアポトーシスを誘導します。この遺伝子の欠失変異は、シン普森・ゴラビ・ベームル症候群（シン普森異形症候群とも呼ばれます）と関連しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。

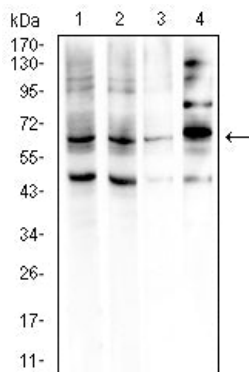
研究分野

-

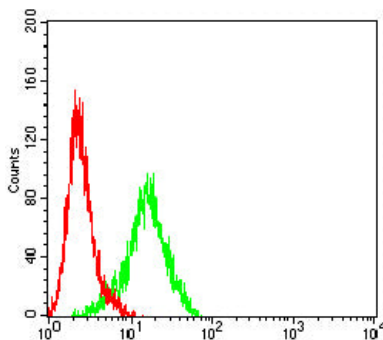
画像データ



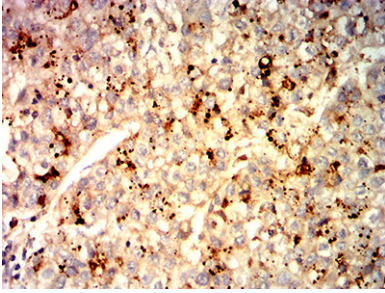
黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



HepG2 (1)、BEL-7402 (2)、SH-SY5Y (3)、および F9 (4) 細胞溶解物に対する GPC3 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



GPC3 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HepG2 細胞のフローサイトメトリー分析。



GPC3 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓癌組織の免疫組織化学分析。